令和四年度

岡山県立岡山操山中学校 適性検査Ⅱ

【注意】

- 課題ごとに、それぞれ指定された場所に書きましょう。 この検査は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどを書く検査です。
- 検査用紙は、表紙(この用紙)をのぞいて三枚あります。 指示があるまで、 下の検査用紙を見てはいけません。
- 「始め」の合図があってから、 検査用紙の枚数を確かめ、三枚とも指定された場所に受検番号を記入しましょう。
- 先生に知らせましょう。検査用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、 印刷のわるいところがあったりした場合は、 手をあげて
- 検査用紙の * には、何もかいてはいけません。
- ・この検査の時間は、四十五分間です。
- ・ 表紙(この用紙)と検査用紙は、持ち帰ってはいけません。

(II - 1)受検 番号 科学は、

病気を治す薬を発明

したり絶滅危惧種を守っ

たり、

世界そのものを変える力をもちます。

_

方、

文学は

世界

とらえ方を変えるものです А 寂は爆音である花吹雪 又吉直樹

『芸人と俳人』

見るたび、 又吉さんは、その静寂を「爆音」だととらえました。静寂が正反対の爆音のように感じられるほど、 いるのでしょうか。散る桜も狂気を帯びているようで、 茶 川 賞作家の芸人・又吉直樹さんの俳句です(集英社文庫所収)。 音もなく桜の花が散る、 聞こえない爆音を聞きます。 なおさら目が離せません。私はこの句を知ってから、 美しい光景です。 圧倒的な孤独の中に 静かな桜を しか

もりあげてやまいうれしきいちご哉 正意 立岡子規 き 『子規全集』

*

子規はあえて してもらえるのも病気になったおかげだ、病気は嬉しいものだなあ、と詠みました。 内東碧梧桐は、季明治二十八年、 発想を変えました。言葉の力で、逆境も肯定してみせたのです。----看病のために毎日、近くの農園から、苺を採ってきます。くだものが大好きな子規は、山盛りの苺を用意えびよう。 病で生死の境をさまよい一命をとりとめた子規は、神戸の病院に入院していました。後輩の高浜虚子と ふつう、 病気は嫌なものです。 でも、

人の世界をも変えうるのです。 科学で解決できないことを前にしたとき、 私の世界を言葉で変えるのが、 俳句の力です。 その力は、 俳句を受け取 つ

て常識にそむき、違う考え方を採用してみることで、 「俳」という字のつくりである「非」には、「そむく。 逆境をのりこえる力が生まれ、自分とは異なる他者への理解も逆の方へ向く」(『新漢語林 第二版』)という意味があります。 逆の方へ向く」(『新漢語林 深ま あ

3 ※

解決できない問題の山積する、分断と混乱の時代へ漕ぎ出してゆくことになります。そのとき、俳句という詩の考え方を解決できない問題の山積する、分断と混乱の時代へ漕ぎ出してゆくことになります。過去の俳人たちは、言葉の想像力で、答えの出ない困難を乗りこえてきました。みなさんもまた、「こう考えてみたらどうだろう」と思考に角度をつけ、マイナスをプラスに変えてみましょう。俳句には、現代を生き抜 装備に加えておくことで、 自分らしさを見失わず生きてゆけるかもしれません。

諧や 木の実くれさうな人を友 正岡子規 『子規全集』

C

2 💥

かと木の実を差し出し合い、友だちのように語り合える、 きっとみなさんの財産になります。 木の実はたいした役に立ちませんが、心を灯します。受け取ったとき、ふと笑みがこぼれます。「俳諧」=俳句とは、 あたたかい詩です。 言葉を通 して、 他者と心を通わせる経験 は、

の焦げ、「おはよう」とあくびする友だちの寝ぐせ、の焦げ、「おはよう」とあくびする友だちの寝ぐせ、 俳句をはじめると、今日と同じ日は二度と来ないことに気づきます。朝焼けに染まる雲のかたち、 瞬間にしか存在しないものです。 私たちはふつう、 明日もあさっても、今日と同じ日常が続くと思っています。でも、そんな保証はありません。それに、 教室を吹き抜けてゆく春風のやわらかさ。それらはすべて、 朝ごはんのウインナー

1 💥

かけがえのない世界のかけらに心ときめくとき、あなたはもう、りっぱな俳人です。 今日がもし、世界最後の日だったら、 なんでもない日々の風景も、一度っきりの今として、 輝きだすでしょう。

(神野紗希著 『俳句部、はじめました さくら咲く一度っきりの今を詠む』から

9山積・・・山のようにたくさんたまること。 *10くれさうな・・6正岡子規・・・明治時代に俳人や歌人として活やくした人。 *13芥川賞・・・新人に与えられる文学賞。 *4所収・・・その本により続き、 *4所収・・・その本にとり入れられていること。 *10くれさうな・・・「くれそうな」の昔のかなづかい。やくした人。 *7肯定・・・そうだとみとめること。 *2俳人・・・俳句を作る人。 *****5哉· *8新漢語林・・・漢字辞典の・・感動の気持ちを表す言葉。

以外で、解答らんに当てはまるように漢字二字の言葉を作りましょう。 い けません。 また、 同じ漢字も二回以上使ってはいけません。 1 「発想」のように、「発」を使った言葉はたくさんあります。 ただし、 「」。 発」 「百」などの漢数字を使っては を使って、 「発明」「発想」

発 発 発

2 💥 課 題 2 も の である う。 いて、 休みの過ごし方」について話し合うことになりました。あな 項目以上を比べながら、「より良い春休みの過ごし方」につ たならどのような意見を出しますか。 するにあたって、 う過ごしたかについてのアンケー 資料1は、 自分の意見を理由もふくめて二百字以内で書きまし 太郎さんの学級で取った、今年度の夏休みをど このアンケー 」なども一字に数えます。 ト結果をもとに「より良い春 ト結果です。 資料1の項目のうち二 中学校に進学 段落分け ょ 資料 1 今年度の夏休みは主に 何をして過ごしたか ゲーム 読書 運動 習い事 20 (人)

しなくてよろしい。

ーマス目から書き始めましょう。)

受検 番号 (3) 諧 Α Bの俳句において、 「文学は、 世界のとらえ方を変えるものです」とありますが、 さく引 さく引 何をどのようにとらえていると筆者は述べていますか。 又吉直樹はAの俳句において、 それぞれについて説明しましょう。 正岡子規は

(4)をふまえ、「俳句とは~ものである。」という形に合わせて、 筆者は、 俳句とはどのようなものだと述べていますか。 Α 八十字以内でまとめて書きましょう。 ・B・Cの三つの俳句について書かれていること ゃ 0

* 俳句とは や「 」なども一字に数えます。)

80字

友だちと遊ぶ インターネット 家族と過ごす *30人の学級で1人3つ回答

200字

100字

(II - 2)

(2)

引」「総画さく引」「音訓さく引」の三つのさく引を利用することができますが、

それぞれについて調べ方を具体的に書きましょう。

あなたはどのさく引を使って

ウの漢字について興味をもち、漢字辞典で調べることにしました。漢字辞典で調べるときは、「部首さく

調べますか。三つのさく引の中から二つを選び、

В

受検番号

3 **

課題3 太郎さんと花子さんは、日本の農業と気候について調べ、先生を交えて話し合いました。あとの会話文を読んで、(1)~(3)に答えましょう。

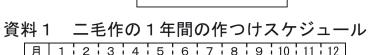
太郎: 二毛作という言葉を聞いたので、どのようなものかインターネットで調べて資料1にまとめました。二毛作とは、資料1のように、1年間に米と小麦などの異なる2種類の作物を同じ耕地でさいばいすることです。

先生: それでは、二毛作はどのような地域でさかんに行われていると考えますか。 花子: 二毛作のさかんな地域は、その地域の気候と大きな関係があると考えまし

太郎:この2つの都市では、どちらで二毛作がさかんに行われているのだろう。

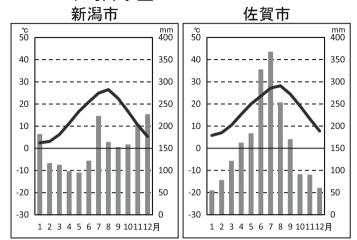
た。そこで、資料2の2つの都市の気温と降水量を比べてみました。

(1) 新潟市と佐賀市では、どちらの都市で二毛作がさかんに行われていると 考えますか。資料1、資料2をもとに2つの都市の気候を比かくしながら、 あなたの考えを書きましょう。





資料2 新潟市と佐賀市の月別平均気温と月別 平均降水量



(気象庁の資料から作成, 1991年~2020年までの平均)

*

太郎:農業といえば、日本では弥生時代を中心に米づくりが 始まったと学習しました。

花子:狩りや採集が中心だった生活が、米づくりが始まった ことで大きく変わったようですね。

太郎: どのような変化があったのかを**資料3**にまとめました。 **資料3**のようにお墓や矢じりに変化があったことがわ かりました。

先生:なぜ、お墓や矢じりはこのように変化したのでしょうか。その理由を考えてみましょう。

咨判:

資料 3								
	狩りや採集が中心の時代	米づくりが中心の時代						
お墓	・住居の周りに小さいお墓が複 数作られた	・小さなお墓に加えて、大きなお墓が作られた・大きなお墓の周りに石やつぼがかざられた						
矢じり	大きさ:1~3cmほど材料:石形状:うすくて軽い特ちょう:遠くまで速く飛ぶ	大きさ:1~6cmほど材料:石や鉄などの金属形状:厚くて重い特ちょう:深くささる						

(あいち朝日遺跡ミュージアム資料,愛知県埋蔵文化センター紀要などから作成)

(2) 米づくりが中心になった時代に、お墓と矢じりに資料3のような変化がみられるのはなぜですか。変化した理由として考えられることを、それぞれについて米づくりと関連付けて書きましょう。

*	お墓	
*	矢じり	

先生:日本で米づくりがさかんになったのは、日本の気候と米の育つ条件が合っていたからですね。このように日本の気候や自然 かん境は人々にめぐみをもたらす一方で、自然災害を起こし、ひ害をもたらすこともありますね。

太郎:学校では、地域の防災意識を高める取り組みを学習しました。

花子:災害に備えて、準備や対策をしておくことが大切ですね。私が住む地域では、今度、ひ難訓練をする予定です。ひ難訓練を してみると、実際のひ難の時に困ることなどがわかるかもしれません。

(3) 花子さんは地域のひ難訓練に参加して、「ひ難行動要支えん者」(ひ難時にだれかの助けを必要とする人)への支えんが課題であることを知りました。「ひ難行動要支えん者」がどのような人か具体例を1つあげ、その人がどのようなことに困るか、また、その人に対して地域の人たちはどのような支えんができるか、あなたの考えを書きましょう。

*				